

北小地域コーディネーター 堀越かおりさん



Q 地域コーディネーターになったきっかけは何ですか？

PTAの役員をしていて、そこからボランティア活動を始めました。その当時北小ボランティア組織（北光クラブ）の長である渡邊さんに声をかけられ、始めることになったのです。

Q コーディネーターとしての研修などは受けましたか？

特に研修を受けてはいませんが、先輩のコーディネーターのやり方を「見て、真似て」覚えました。



鹿沼「市でもコーディネーター研修を行ったり、県の研修の案内をしたりしています。皆さんがさらに、研修を受けたいと思えるように告知を頑張りますので、是非参加してくださいとお願いしました。

Q コーディネーターの主な仕事は何ですか？

「北光コムスク・ねっと」（北小学校運営協議会）の教育部会のコーディネーターとして、子供たちの豊かな成長のために何ができるか考え、地域と学校の橋渡しとして活動しています。

具体的にはどんなことをしているのかな？
さらにお聞きしました。



- ①放課後子ども教室（金曜広場）・・・金曜日の5時間目に1年生が上級生の下校を待つ間、遊びの支援をしたり、ボランティアを募ったりしています。



- ②サマースクールの支援・・・夏休みに子供たちが参加したくなるような内容の様々な企画をして、その企画のチラシを作り、募集をし、取りまとめ、運営しています。（場所は、学校を借りることもありますが、企画から運営まで、学校の先生方の手を煩わせずに地域のボランティアで行っています。）

詳しくは、「北光コミスク・ねっとNEWS」をご覧ください。

「北光コミスク・ねっとNEWS」QRコード



- ③学習支援・・・学校から依頼があったときに、調理学習のお手伝い、ミシン学習のお手伝い、読み聞かせ、校外引率、クラブ活動支援等、様々な学習の支援をしています。（しかし、コロナ禍でここ何年か実施できないのが残念です。）
- ④環境整備支援・・・「北光コミスク・ねっと」の環境部会と連携して、学校の除草ボランティアの募集を行ったり協働したりしています。

Q 学校と地域の連携はどのように行っていますか？

コロナ禍で、何もできない状況ではあるのですが、ボランティア募集など、自治会と連携してチラシでの声掛けをしています。

Q コーディネーターのやりがいは何ですか？

「子どもたちの笑顔」です。これについては、自分だけでなくボランティアの皆さんがおっしゃいます。街に出ても子供たちが覚えていて声をかけてくれるんですよ。本当にうれしいです。死ぬまでやりたいと思っていますよ。

Q コーディネーターの苦労は何ですか？

ひとつは、地域の人が集まらないことです。ボランティアが不足しています。もうひとつは、子どもたちに関わる際、対応の仕方に戸惑うことです。どのようにするのが子どものためなのかを考え悩むときがあります。



実は、昨年度市の研修会で作新大学人間文化学部高浜浩二教授をお呼びした研修会で子供たちの対応についての講話をしていただきました。そのような機会があったらお声掛けします

実は、今年度も7月19日に高浜先生の研修があります。興味のある方は、是非参加してください。

Q コミスクでの連携・協働はどのように行っていますか？

「北光コミスク・ねっと」（北小学校運営協議会）の教育部会のコーディネーターとして活動しています。主にボランティアの募集を地域にかけて、取りまとめをしています。先ほど言ったように、自治会での声掛けも依頼しています。



Q 最後に何かお話ししておきたいことがございましたら…

元教員の方のお手伝いをいただいています。OBにも知れ渡るといなあ、と思っています。子どもたちに接する経験があるので、大変頼りにしています。

また、お子さんがいない方が、ここに来るだけで子供と遊べる（金曜広場）とおっしゃって、自分自身も楽しんで活動して下さるのがうれしいです。一番の悩みは、人材不足です。解決できるといなあと思っています。

堀越さん、ありがとうございました。今後、人材不足を解決する方法を一緒に考えていきましょう。これからも北小学区のためにご尽力いただきたいと思います。健康に留意されて、これからもご活躍ください。

